

重点課題「第3次食育推進基本計画」

重点課題	
< 1 > 若い世代を中心とした食育の推進	・若い世代自身が取り組む食育の推進、次世代に伝えつなげる食育の推進
< 2 > 多様な暮らしに対応した食育の推進（新）	・様々な家族の状況や生活の多様化に対応し、子どもや高齢者を含むすべての国民が健全で充実した食生活を実現できるような食体験や共食の機会の提供
< 3 > 健康寿命の延伸につながる食育の推進	・健康づくりや生活習慣病の予防のための減塩など及びメタボリックシンドローム、肥満・やせ、低栄養の予防などの推進
< 4 > 食の循環や環境を意識した食育の推進（新）	・食の生産から消費までの食の循環の理解、食品ロスの削減などの推進
< 5 > 食文化の継承に向けた食育の推進	・和食、郷土料理、伝統食材、食事の作法など伝統的な食文化への理解等の推進

重点事項「第4次食育推進基本計画」

重点事項	
< 重点事項 > 生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進	国民の健康の視点
 3次：< 1・2・3 >	
< 重点事項 > 持続可能な食を支える食育の推進	社会・環境・文化の視点
3次：< 2・4・5 >	
< 横断的な重点事項 > 「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進	横断的な視点
・SDG s の観点から相互に連携して総合的に推進	

基本的な取り組み方針「第3次食育推進基本計画」

推進する内容
1. 国民の心身の健康増進と豊かな人間形成
2. 食に関する感謝の念と理解
3. 食育推進運動の展開
4. 子供の食育における保護者、教育関係者等の役割
5. 食に関する体験活動と食育推進活動の実践
6. 我が国の伝統的な食文化、環境と調和した生産等への配慮及び農山漁村の活性化と食料自給率の向上への貢献
7. 食品の安全性の確保などにおける食育の役割

基本的な取り組み方針「第4次食育推進基本計画」

1. 国民の心身の健康増進と豊かな人間形成
2. 食に関する感謝の念と理解
3. 食育推進運動の展開
4. 子供の食育における保護者、教育関係者等の役割
5. 食に関する体験活動と食育推進活動の実践
6. 我が国の伝統的な食文化、環境と調和した生産等への配慮及び農山漁村の活性化と食料自給率の向上への貢献
7. 食品の安全性の確保などにおける食育の役割

食育の総合的な促進に関する事項「第3次食育推進基本計画」

具体的な施策
1. 家庭における食育の推進
2. 学校、保育所等における食育の推進
3. 地域における食育の推進
4. 食育推進運動の展開
5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等
6. 食文化の継承のための活動への支援等
7. 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進

食育の総合的な促進に関する事項「第4次食育推進基本計画」

推進する内容
1. 家庭における食育の推進
2. 学校、保育所等における食育の推進
3. 地域における食育の推進
4. 食育推進運動の展開
5. 生産者と消費者との交流の促進、環境と調和のとれた農林漁業の活性化等
6. 食文化の継承のための活動への支援等
7. 食品の安全性、栄養その他の食生活に関する調査、研究、情報の提供及び国際交流の推進

目標「第3次食育推進基本計画」

目標			
具体的な目標値	計画作成時 (2015年度)	現状値 (2019年度)	目標値 (2020年度)
1 食育に関心を持っている国民を増やす			
①食育に関心を持っている国民の割合	75.0%	76.2%	90%以上
2 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数を増やす			
②朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	週9.7回	週10.0回	週11回以上
3 地域等で共食したいと思う人が共食する割合を増やす			
③地域等で共食したいと思う人が共食する割合	64.6%	73.4%	70%以上
4 朝食を欠食する国民を減らす			
④朝食を欠食する子供の割合	4.4%	4.6%	0%
⑤朝食を欠食する若い世代の割合	24.7%	25.8%	15%以下
5 中学校における学校給食の実施率を上げる			
⑥中学校における学校給食実施率	87.5% (26年度)	93.2% (30年度)	90%以上
6 学校給食における地場産物等を使用する割合を増やす			
⑦学校給食における地場産物を使用する割合	26.9% (26年度)	26.0% (30年度)	30%以上
⑧学校給食における国産食材を使用する割合	77.3% (26年度)	76.0% (30年度)	80%以上
7 栄養バランスに配慮した食生活を実践する国民を増やす			
⑨主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合	57.7%	56.1%	70%以上
⑩主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合	43.2%	37.3%	55%以上
8 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民を増やす			
⑪生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民を増やす	69.4%	67.4%	75%以上
⑫食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業の登録数	67社 (26年度)	103社 (28年度)	100社以上

目標「第4次食育推進基本計画」

目標		
具体的な目標値	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和7年度)
1 食育に関心を持っている国民を増やす		
①食育に関心を持っている国民の割合	83.2%	90%以上
2 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数を増やす		
②朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	週9.6回	週11回以上
3 地域等で共食したいと思う人が共食する割合を増やす		
③地域等で共食したいと思う人が共食する割合	70.7%	75%以上
4 朝食を欠食する国民を減らす		
④朝食を欠食する子供の割合	4.6%	0%
⑤朝食を欠食する若い世代の割合	21.5%	15%以下
5 学校給食における地場産物を活用した取り組み等を増やす		
⑥栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数	月9.1回	月12回以上
⑦学校給食における地場産物を使用する割合（金額ベース）を現状値（令和元年度）から維持・向上した都道府県の割合	—	90%以上
⑧学校給食における国産食材を使用する割合（金額ベース）を現状値（令和元年度）から維持・向上した都道府県の割合	—	90%以上
6 栄養バランスに配慮した食生活を実践する国民を増やす		
⑨主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合	36.4%	50%以上
⑩主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合	27.4%	40%以上
⑪1日当たりの食塩摂取量の平均値	10.1 g	8 g 以下
⑫1日当たりの野菜摂取量の平均値	280.5 g	350 g 以上
⑬1日当たりの果物摂取量100 g未滿の者の割合	61.6%	30%以下
7 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民を増やす		
⑭生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民の割合	64.3%	75%以上

目標「第3次食育推進基本計画」

目標			
具体的な目標値	計画作成時 (2015年度)	現状値 (2019年度)	目標値 (2020年度)
9 ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合			
⑬ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合	49.2%	53.4%	55%以上
10 食育の推進に関わるボランティアの数を増やす			
⑭食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している国民の数	34.4万人 (26年度)	36.5万人 (30年度)	37万人以上
11 農林漁業体験を経験した国民を増やす			
⑮農林漁業体験を経験した国民（世帯）の割合	36.2%	39.3%	40%以上
12 食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民を増やす			
⑯食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合	67.4% (26年度)	76.5%	80%以上
13 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民を増やす			
⑰地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合	41.6%	47.9%	50%以上
⑱地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている若い世代の割合	49.3%	61.6%	60%以上
14 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民を増やす			
⑲食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合	72.0%	79.4%	80%以上
⑳食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する若い世代の割合	56.8%	70.3%	65%以上
15 推進計画を作成・実施している市町村を増やす			
㉑推進計画を作成・実施している市町村の割合	76.7%	87.5%	100%

目標「第4次食育推進基本計画」

目標		
具体的な目標値	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和7年度)
8 ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合		
⑮ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合	47.3%	55%以上
9 食育の推進に関わるボランティアの数を増やす		
⑯食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している国民の数	36.2万人	37万人以上
10 農林漁業体験を経験した国民を増やす		
⑰農林漁業体験を経験した国民（世帯）の割合	65.7%	70%以上
11 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす		
⑱産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合	73.5%	80%以上
12 環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす		
⑲環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民の割合	67.1%	75%以上
13 食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民を増やす		
⑳食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合	76.5%	80%以上
14 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民を増やす		
㉑地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合	50.4%	55%以上
15 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民を増やす		
⑲食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合	75.2%	80%以上
16 推進計画を作成・実施している市町村を増やす		
㉑推進計画を作成・実施している市町村の割合	87.5%	100%